

議会だより



一般質問(農業・福祉・教育など現状と課題を質す)..... 5

学ぶ議会(雪中キャベツ事業視察)..... 11

あの質問どうなった 14

新しい町づくりへ私の提案 15

町とのコラボによる北部高校
企業体験スクール開催
関連記事16p

発行／長野県飯綱町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和2年12月31日現在 人口10,854人(98.5%)／男5,331人(98.4%)・女5,523人(98.7%)
世帯4,213(100.0%) ※うち外国人世帯28(90.3%) ()内は前年比率

子育て支援施設 4月オープン

子育て支援センターとワークセンターを併設



▲他市町村の方も利用できる子育て支援施設

12月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、11月26日から12月11日までの16日間で開催された。提出された議案は、報告1件、条例9件、補正予算6件、その他7件を原案どおり可決し、農業委員の任命16件に同意した。

請願（継続審査）2件、陳情2件を採択し、発議5件を可決、1件を否決した。

飯綱町子育て世代支援施設条例

—可決—

子育て世代の多様な働き方の推進、きめ細かな切れ目のない包括支援を行うため、ワークセンター事業と子育て支援センター事業の複合施設を整備し、設置及び管理に必要な事項を定めるもの。

補正予算

令和2年度一般会計補正予算（第6号） —可決—

規定の予算に1億9020万円を増額し、総額107億4822万円とするもの。

主な歳出

ふるさと納税関係
1億4000万円

工事変更請負契約3件の締結

飯綱町役場新庁舎建設工事 —可決—

地盤改良施工等増工。

変更前 11億1100万円
変更後

11億1865万6千円

契約の相手方

株式会社 岡谷組

旧牟礼西小学校跡地拠点施設整備工事 —可決—

3階洗面所改修、中庭ウッドデッキ設置等。

変更前 7524万円

変更後 8695万5千円

契約の相手方

高木建設株式会社

飯綱町三本松農産物加工施設建設工事 —可決—

エアコン2機設置等。

変更前 9218万円

変更後

9422万1千6百円

契約の相手方

高木建設株式会社

飯綱町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準じる者の割合を4分の1以上とするものとの同意 —同意—

認定農業者5名で、定数の過半数を占めることが困難なため、法律の例外規定を適用するもの。

任期満了に伴う農業委員の選出（16名） —同意—

請願

「ゆきとどいた教育」を求める請願 —採択—

請願者 長野高教組北部高
校分会 東 星吾

委員会でも採択も 本会議では採択

国の責任で、35人以下学級を計画的に前進させることを求めている。

賛成討論—伊藤まゆみ

萩生田文科大臣は委員会で「30人が望ましいと思う。皆さんと協力して頑張りたい」と答えた。地方議会として、大臣の頑張りを支える意思表示は必要だ。

賛成討論—渡邊千賀雄

学習の理解や意欲も高まり、学校が落ち着いてきたと報告されている。体力、気力、学力の向上が図られる。教職員や父母の願うところであり賛成だ。

賛成討論―荒川 詔夫

当町の教育環境は激変緩和措置中であるが、ゆとり教育と思う。教職員増により少人数学級の推進の方が、引きこもり解消に繋がり費用対効果が大きい。

反対討論―青山 弘

一律に教員の数を増やすことではなく、多様化する課題、個に応じた対応などに加配すべきと考える。

反対討論―中島 和子

少子化の中、多くの仲間との集団生活は社会形成への第一歩になる。また、子ども達にとって最大の教育環境は教員。先生方への研修等への支援が優先。

地域高校の存続と30人規模学級を求める請願

―採択

請願者 長野高教組北部高校
校分会 東 星吾

早期に地域高校の30人規模学級の実現と、地域高校の存続を求めている。

定例会

陳 情

安全・安心の医療・介護と国民のいのちと健康を守るための陳情書―採択

陳情者 地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会

今後予想される新たな感染症拡大などにも対処できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。

公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図る。

社会保障にかかわる国民負担軽減を図ることなどを求めている。

国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める陳情

―採択

陳情者 長野地区社会保障推進協議会

経営破綻による医療・介護崩壊が目前に迫っており、全ての医療機関・介護事業

所への国の緊急支援を求めている。



▲道路メンテナンス中の鳥居新橋

発 議

国土強靱化対策の推進を求める意見書

―可決

来年度以降も継続して国土強靱化計画に取組むため、予算の確保と「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の延長と事業規模の拡大などを求めた。

日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・調印・批准を求める意見書

―可決

被爆国として核兵器完全

禁止のため真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加・調印・批准を求めた。

「敵基地攻撃能力」の保有に反対し平和外交の推進を要請する意見書―否決

「敵基地攻撃能力」の保有に反対し、隣国・周辺諸国とは話し合いを主とする平和外交を求めた。

賛成討論―伊藤 まゆみ

敵基地攻撃能力を保有すれば、攻撃対象となることが否定できない。国は、平和外交に徹するべきと考えるが見えないため、議会は強く求めるべきだ。

賛成討論―渡邊 千賀雄

専守防衛から逸脱し違憲であり、多額の経費をつぎ込む大軍拡だ。命や暮らしを守ることが行政の仕事。戦争を許さないことが最大の福祉行政だ。

賛成討論―目須田 修

相手のミサイル拠点に先に破壊しようとする考えと能力の保有は憲法に抵触すると考える。子どもたちのためにも平和外交であるべき。

反対討論―瀧野 良枝

町村の権限外の外交問題は、具体的に町の公益上の必要性の有無を慎重に判断すべきとされており、当議会の扱いにならないと考える。

反対討論―原田 重美

「専守防衛」の理念がある日本は戦争を仕掛けてはならないが、アジアの状況を考え、国段階で防衛力を十分論議すべき。現状では反対。

訂 正

60号6ページ 最下段。荒川詔夫議員の賛成討論を左記のように訂正し、お詫びいたします。
②高等教育の高額化と貧困による負の連鎖の解消。

臨時会

臨時会

第4回臨時会
11月4日開催

令和2年度一般会計補正
予算(第5号) — 可決

既定予算に、1167万
1千円を追加し総額を10
5億5802万円とする。

主な歳出

・みんなで応援！飯綱町商
品券配布事業

567万1千円
・事業者等支援給付金（農
業者分） 500万円

工事請負契約の締結

— 可決

鳥居新橋修繕工事

契約金 6050万円

契約の相手方

株式会社 上野組

人事案件4件

— 同意

固定資産税評価委員選任

山浦 幹雄 氏

鶴田 ひろみ 氏

小林 仁司 氏

教育委員会委員の任命

梨本 忠彦 氏

令和2年 12月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対 欠 欠席)

議 案 名		表決 結果	清水 均	風間 行男	中島 和子	目須 田修	瀧野 良枝	原田 幸長	石川 信雄	荒川 詔夫	伊藤 まゆみ	清水 満	樋口 功	渡邊 千賀雄	原田 重美	青山 弘	大川 憲明
議案	北信保健衛生施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	北信保健衛生施設組合不燃物処理センター施設解体事業に伴う財産処分の協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町子育て世代支援施設条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町指定居宅介護支援等の事業の従業者及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度飯綱町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	—
	令和2年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度飯綱町病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	財産の取得について(若者住宅 1棟 黒川原田地区)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることの同意について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町農業委員会委員の任命について(16件)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	飯綱町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
陳情	工事変更請負契約の締結について(新庁舎建設増工)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	工事変更請負契約の締結について(旧西小改築増工)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	工事変更請負契約の締結(三本松増工)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「ゆきといた教育」の前進を求める請願	可決	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
発議	地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	国に対して[すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書]の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	国土強靱化対策の推進を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・調印・批准を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「敵基地攻撃能力」の保有に反対し平和外交の推進を要請する意見書案	否決	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	○	●	●	—
	地域高校の存続と30人規模学級を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	すべての医療機関・介護事業所への大幅な緊急財政支援を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	「ゆきといた教育」の前進を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

採択された請願、陳情については、関係機関に意見書を提出しました。

賛否結果

農業、福祉、教育など 現状と課題を質す

原田 重美議員

- 1 新年度予算の事業展開は
- 2 地方創生はソフト重視で
- 3 日本一事業意識の共有を
- 4 3期目挑戦の意欲どうか

伊藤 まゆみ議員

- 1 介護特例加算の利用者負担への支援を
- 2 飯綱病院の介護病床は
- 3 iバスの更なる拡充を

渡邊 千賀雄議員

- 1 来年度の予算編成は
- 2 農業の所得向上策は
- 3 町エネルギービジョンの実現化は

瀧野 良枝議員

- 1 不登校児童生徒へのきめ細やかな支援を
- 2 学校以外での学びの場の確保は
- 3 個に合わせた学習支援の導入を

目須田 修議員

- 1 建設した(建設中)の施設に係る費用(見込)について
- 2 公園構想について
- 3 住民(区・組等)から要望があった道路・側溝などの修繕について

9月定例会に引き続き、
新型コロナウイルス感染防止対策のため、
1人40分の制限時間内で質問しました。

- ・一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- ・一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- ・一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



議員の質問もありました。
アイバス利用に関する

の点も次回定例会で町の
対応をお願いしたいと思います。

補聴器購入助成 早急な制度化を

高齢化の進む中で、高
齢者や聴覚に障害を抱え
る人たちへ「補聴器購入
に伴う町としての
助成金の制度を考
えていきたい」と
の町長の答弁をお
聞きし、早急な制
度化による実施を
期待しています。
各地域から出さ
れていた道路や河
川等の修繕事業の
着工率の報告もあ
りましたが、「県道
長野―荒瀬原線」
の牟礼地区ガード
下付近の高架橋に
よる交通網の整備
事業についても、
次回定例会で報告
していただければ
と思います。

三水支所が新庁舎に併合
することですが、全
ての用事が新庁舎で足り
る点ではメリット
も大きく評価しま
すが、上村・東高
原や奈良本地域等
の住民の方は遠く
へ諸所の手続きに
アイバスを利用し
て出向く場合、町
の助成による利用
料の住人負担の軽
減策の検討をされ
ているか、先に述
べた地域への支所
機能をもたせる施
設(規模はともか
く)を設け対応し
てもらえるように
再度検討され、こ
の点も次回定例会で町の
対応をお願いしたいと思
います。

傍聴席



川口 民雄さん
(小玉)



原田 重美議員

新年度予算の事業展開は

町長 三水の水道改修へ基金の創設

一般質問

原田 新年度予算の編成理念と施策はどのようなか。

町長 基本構想の理念を踏まえ、協働の力で住みよいふるさとを目指す。三水地区の水道水源など改修が大きな事業。8億円から10億円の財源を一般会計内で賄うのは無理。新年度は基金の設立からスタートしたい。また自然環境保全条例を一層充実させ、景観条例を来年度中に提案したい。

地方創生はソフト重視で

原田 地方創生事業の見直しでは、新たな視点で地域資源を活かすソフト事業を。**町長** 総合計画と総合戦略の一体化で理解しやすくする。

施設整備はほぼ完成。新しい町の魅力づくりにはソフト事業が絶対必要だ。外部人材、住民、若者参加が結集されればいいアイデアは生まれる。

日本一事業

意識の共有を

原田 町の基本構想は「日本一のりんごのまち」と「日本一女性が住みたくなるまち」を掲げる。異論はないが、農地荒廃や担い手減少が止まらない。意識の共有、底辺拡大へ話し合いが大事だ。

町長 投資の割に成果が出ないのが農業。スマート農業や専業、兼業や家族農業も大きな力がある。一つの目的に向かい話し合いが大事だ。その意味で



▲りんご生産は助っ人さんも大きな頼り

も集落創生事業が区、組でいっそう展開されることを望む。

原田 コロナ禍は地方回帰のチャンス。人口1万人維持を目指す施策は。企画課長 一番の課題は住む家の確保。宅建協会と連

携して空き家情報の提供を呼びかけ、今年度87件の情報の内、10件を不動産として公開、3件が売買成立した。徐々に整いつつある。

また、専門の情報サイトを年内に公開する予定。来年1月からオンラインによる移住相談を



▲農家の所得増が期待される直売施設(いづなマルシェ むーちゃん)

始める。

原田 将来負担を考え、健全な財政運営を。

町長 単に自主財源に頼らず、国庫補助金、有利な起債、寄付金などを使った運営に留意していく。

3期目挑戦の意欲

町長 まったく考えなかったといえうことになる。これまでフル回転であり、今後のことは新たに考えていく。

加齢性難聴者へ

補聴器購入補助制度の実施は

町長 来年度から予算化したい

来年度の予算編成は

渡邊 町長の2期目の最後の総仕上げの予算編成にあたる。

予算の編成権は町長であり、公約に対しての実現化である。編成方針と重点施策は。

町長 今年度が一区切りのつもりだ。作った施設をどう充実させていくか。人口増策、農業支援、水道問題等に取り組む。

渡邊 補助制度の実施は、

高齢化の下で、加齢性の



渡邊 千賀雄議員

難聴者が増えている。その難聴者が15%ぐらいしか対応をしていないという。補聴器が高額なこと、我慢していることの結果で、コミュニケーション障害が

こり、さらに認知機能低下が進むとされている。社会的弱者になりかねない。加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を研究されていたと思うが実施は。

町長 コロナ時代の弱者の手助けとなれば、来年度から予算化したい。

渡邊 田山花袋は、国木田独歩、島崎藤村、徳田秋声らとともに、自然主義作家の文豪と呼ばれている。町内3ヶ所に、石碑が建てられており、アップルミュージアムの入口には、「自然主義文学のふるさと」と「文学博士平岡敏夫」の名が刻まれている。



▲田山花袋「自然主義文学のふるさと」石碑
(アップルミュージアム 入口)

町民憲章に「文化の香り高い町をつくりましょう」とある。田山花袋展示コーナーの創設は。

教育長 田山花袋が文豪とされたり、学校教育に出てこない。石碑はあるがこの程度に留めておくのがよいと考える。

農業の所得向上策は

渡邊 個人所得の過去5年

個人所得の推移

(単位:千円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
給与所得	11,130,800	11,149,161	11,141,684	11,063,725	10,950,796
営業所得	483,748	494,575	458,980	498,293	487,404
農業所得	264,930	313,544	117,418	119,164	103,184

▲個人所得の推移表(元年度行政報告書より)

間の推移によると、元年度の町の基幹産業である農業所得が最低になっている。どう打開し、今後の農業支援策をどう考えるか。

町長 本来の農業収入は28〜30億ある。リンゴは生産量が落ちている。どうするかだ。

渡邊 町長は儲かる農業を掲げ取り組んできたと思うが、今後に向けてはどう考えるか。持続可能な家族農業を維持発展させることだと考えるが。

町長 小規模農家への支援を考えている。機会をみて発表する。

町エネルギービジョン 実現化は

渡邊 国を挙げて「脱炭素社会・地球温暖化対策」に取り組み決意を示している。

町でも「飯綱町地球温暖化対策」を策定しているが、町エネルギービジョンにおける、再生可能エネルギーの導入の進捗状況は。今後どう進めるか。

町長 大規模な太陽光発電の申請が予定されている。慎重に進める。

産業観光課長 水力発電は芋川用水で、40KW・66戸分、令和4〜5年に設置予定。

駅前公園は30年かけて形に

町長 時間をかけ、みんなで作っていくのが理想



目須田 修議員

公園構想のひとつ 駅前公園の現状は

目須田 コンセプトは「自然と共に生きる町」で、里山公園をイメージし、みんなで作くりみんなが利用する公園づくりを望み、これを提案し考えが同じであるかを確認する。

町長 栄町に限ってだが、候補地は公園として利用できるのか。「表玄関から直接上が行けないか」等の要望が地元からきている



▲牟礼駅とその周辺



▲駅前の高台にある佐軍神社とその周辺

は赤や黄色と色鮮やかに紅葉する里山公園を提案する。
町長 提案は町の魅力的な公園のひとつになると思うが費用のこともあるので、諸々相談していく中で地域の人達にも愛され町のみんなの公園として利用できる公園をイメージしている。
目須田 それでは設計及び費用についても提案し、質問を。候補地は気候・地形・面積・方向・地質・樹木の種類、そして散歩道と広場。加えて神社が2つある等を考慮する必要がある。あり企画・設計・完成予想図の作成予算は30万円と聞いているがとても足りない。可能ならば里山ガーデンデザイナーに依頼することを提案する。また、企画・設計には多くの

意見を聴ける機会をつくって欲しい。
町長 まだ公園をつくる基本段階までいっていない。
目須田 予定している土地は町の所有とするのか。
町長 現在は民有地。地主さんは協力的なので町の所有となると思う。
目須田 住民の総力で苗づくり・植樹・草刈りなど手入れをし、つくり上げる。住民を始め全国からの寄付や献木も募り、熱意と愛情ある公園づくりを。東京・神宮の森も人工林で今年でちょうど百年。我が町の公園づくりも10年から30年かけて形にするんだという考えが必要と思うが。
町長 苗づくりから献木や寄付等、時間をかけ地元のみんなに長い目で見てもらい、みんなで作っていくプロジェクトは素晴らしいと思う。地元の方々と話し合って進めていきたい。
目須田 町長の後期5か年計画の重要なプロジェクトとなるよう、より一層、住民のための心に残る事業を展開し、町のために貢献してもらいたい。

介護特例加算

利用者負担への支援を

長国の動向を見たい

伊藤 コロナ対策として、国では6月利用者の合意を得たうえで介護報酬の特例加算の認定を認めた。介護事業所への支援だが、サービスは変わらないのに利用者負担が増え、合意を得にくいことから、町内で算定している事業所はない。飯田市と上田市は実施している。

在宅介護を支える事業所への支援として、利用者負担の支援の実施をすべきだ。**町長** 事業所から要望はない。国は介護報酬改定の検



伊藤 まゆみ議員



▲デイサービスで楽しいひととき

金を利用して

伊藤 介護現場は、厳しい状況にある。見解は。**町長** 現場の大変さは理解している。コロナにより若い方が離職していると聞く。国の動向を見たい。

飯綱病院の介護病床は

伊藤 町民の命と暮らしを支える病院として、町立飯綱病院の4階介護療養病

床の今後をどうするか。

事務長 結論は出ていない。

伊藤 介護医療院へ転換すべきと考えるが。

討をしているので、情勢を注視したい。

保健福祉課長 飯田市と上田市は、コロナ対策の交付

一般質問

事務長 介護医療院は、介護、医療、生活基盤が求められる。性質の異なる施設となるため簡単ではない。職員の資格、配置、採用もあり一筋縄ではいかない。包括ケア病棟について検討を始めたところで、患者がどれほどいるか調査する。期限の1年前には方向を出したい。

iバスの更なる拡充を

伊藤 改善を重ね、利用しやすくしてきたことは、評価できる。

今年度実施のヘルパー同乗による支援の評価は。
企画課長 講習を受けた4人が金曜日に2人2台に乘車している。シルバーカーの積み下ろしや荷物の配達など行い、利用者に好評で、ドライバーの安全運転につながっている。

伊藤 実施日の増加を。

町長 費用的には大きくないので、利用実績が上がるような検討を重ねたい。

伊藤 施行運転中のiバスコネクトの状況は。

企画課長 土日祝日9日間で平均5人。町外者が90%。PR不足で利用者は少ない。
伊藤 町民も利用できる。今後をどう考えているか。

町長 町外の方もターゲットにしているが、地域のはずれと思っている人達も便利に使ってほしい。赤東から天狗の温泉へ200円で行ける。

自動運転に切り替わるまでは、何とか継続していきたい。



▲好評のヘルパー同乗のiバス

不登校支援

訪問型支援は信頼関係の構築を

教育長

担当者の連携を密にするよう心がけたい



瀧野 良枝議員

不登校児童生徒への
きめ細かな支援を

瀧野 訪問型支援における児童生徒、保護者との信頼関係構築の方策は。

教育長 担任、学校、そこにスクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）などの専門家の力も借りながら努めている。

瀧野 登校刺激が状況にマッチせず、お子さんに過度の緊張感を与え、家庭が持つ居場所機能が阻害されたと感じられたケースもある。同じ担当者が関わり続ける意義もあるが、児童生徒や保護者が多様な接点を選択できるようにするのが良いのでは。

教育長 お子さんや保護者に不快感やストレスを与えることがあったなら、今後はそのようなことのないよう連携を密にし、信頼関係を築くように心がけたい。

瀧野 担当者における研修などの自己研鑽、児童生徒や保護者からの評価、第三者評価等、質の向上は図られているか。

一般質問

教育長 SCやSSWなど専門的な資格保持者は定期的研修が義務づけられている。教職員も定期的な研修に努めている。SCやSSWの利用者10名弱のアンケートでは1名を除き良い評価。引き続き支援活動を行い、力を合わせ解決に向きたい。



▲多様で適切な教育機会の確保を

学校以外での
学びの場の確保は

瀧野 民間団体との連携、出欠の扱いは。

教育次長 町内フリースクール、秋祭りを担任が参観、理科実験用の器具の貸出などの連携をとっている。

出欠の取り扱いは、フリースクールに通所の3名、他施設通所の1名、家庭でのオンライン学習の1名を出席扱い。

瀧野 松本市ではオンライン学習での出席扱いのガイドラインが策定された。町のICT（情報通信技術）活用の将来構想は。

教育長 現状でも授業で活用されている

が、今後、一人1台のタブレットが配備されるので、利用するソフト、教員の指導力、使用方法の規則づくりも合わせて進めていく。

個に合わせた
学習支援
の導入を

瀧野 学習に困難を抱える児童生徒へのICT活用については文科省からもハ



▲保護者への積極的情報提供を
「飯綱町こどもを支える親の会」よつばの会の発行誌

ンドブックが出されている。視覚情報や聴覚情報に偏りがある場合など、ICT活用は大変有効であるが町の現状ならびに将来構想は。

教育長 特別支援学級においては、ドリル学習など個別学習に取り入れている。利点を生かしながら上手な運用に努めたい。

総務産業常任委員会

先進地に学ぶ

小谷村「雪中キャベツ事業」を視察



11月9日、雪中キャベツ
生産組合を視察

事業説明

地元JAより

○平成28年に「雪中キャベツ生産組合」を設立。

○平成28年11月「北アルプス山麓ブランド」として認定される。

○毎年約2万株の定植、耕作面積は8千㎡。生産組合が認めたキャベツ（2週間以上雪中）はブランドシールが貼られる。



▲雪中キャベツ事業の説明と質疑応答

販売ルート

- JAとの連携による販売、近隣市町村スーパーでの販売
- 小谷村観光連盟イベントに合わせた大口販売
- 小谷村姉妹都市へ向けた販売
- 長野県（青木村）道の駅との連携による販売

今後の目標等は

- 生産数量の確保
- 担い手の確保



▲雪を待つばかり（標高の高い園地）の現地視察

現地視察2カ所

- 大口注文に係る作業効率の向上
- 連作障害を防ぐための圃場の確保
- 小動物への対応策が挙げられる。



▲昨年雪不足で雪中キャベツとして出荷できなかった（標高の低い園地）の現地視察

- 個人経営の圃場視察では標高の高い所で、昨年雪中キャベツとして出荷
- 法人経営の圃場視察では標高の低い所で、昨年雪不足で雪中キャベツとして出荷できなかった。
- 連作障害か小玉キャベツだった。
- 飯綱町においては、標高650メートル以上ある高坂・上村地域でも栽培可能となることを学んだ。

議会だより第60号 (9月定例会)

モニターアンケートにお答えします

Q 一般質問の中にPCR検査、抗原検査が11月末から飯綱病院でも行えるとの事、料金は書かれているが、1日に何人できるのか、検査結果はいつ判るのか、詳しく教えて欲しい。

A 有症状者は病院に連絡のうえ、必要に応じて抗原検査またはPCR検査を行っています。有症状者の検査費用は公費となります。

無症状者（陰性証明等）は、1日4件程度実施可能で完全予約となります。

検査結果は、抗原検査は当日中、PCR検査は外注のため1～2日後になります（無症状者の検査費用は、検査結果によっては自費から公費になる場合があります）。

無症状者の検査は、2月から実施予定で原則として土曜・日曜は行いません。詳細は病院まで問い合わせ願います。

議会質疑の公開を

Q ・年度ごとの議員の質問回数一覧（棒グラフ等で視覚的に！）することは。
・音声、または動画による議会質疑の様子を町民に公開しては。

A ・議員白書で公開しています。
・インターネットで一般質問は音声および動画、議事録を公開しています。三水地区は有線放送で音声を放送しています。

模擬議会の開催は

Q 子ども議会、ママさん議会、移住者議会など、模擬議会を色々やってみてはどうか。それぞれの目線から色々な発想が出ることを期待。

A 模擬議会は何回かやってきましたが、前向きに検討します。



▲新議場は第一庁舎(新庁舎2階)です
(傍聴の際は、感染防止対策にご協力をお願いします)

質問の後の検証は

Q 議員の皆さん、多方面からの質問していただいていると思います。しかし検討します？その後、どうなったの？最後まで検証する必要性を感じます。

A 再度質問したり、「あの時の質問どうなった」で報告しています。

アンケートをメールで

Q 本アンケート提出を紙でなくメールでもできるようにすれば、議員さんや議会事務局の負担が減ると思います。コロナ感染防止対策にもなりますし。ご検討をお願いします。

A メールでも受け付けています (gikai@town.iizuna.nagano.jp)。顔を合わせて話ができる良い面もありますので、新型コロナウイルス感染症対策をした上で続けたいと思います。

議会だよりをよく読むようになったが

Q 今までさらに読み流していたが、モニターになって議会だよりをよく読むようになった（当然）。町の広報ではなかなか見えてこないことが結構沢山あり、いろいろ見えてくる。議員さんの一般質問、問題点、課題等、町の抱える問題が見えてくる。

A 議員も常に、問題点を調査したり、考えていますので、意見等もお寄せください。

半農半サラの農業スタイルは

Q 規模の大小はあれ、①自分の農地や近所の農地で、土地の無い町民には、共同で利用できる「町民農園」など、②土地は持たずとも、いつでも農作業を手伝える登録制度（週末助っ人組合）などあったら、農家の援助にもなり生産性も上がっていくのではないのでしょうか。

A 町は、農業を基幹産業として位置付け、「日本一のりんごの町」を目指し、家族農業を支援し維持発展させるとしています。「四季なりいちご」の試験栽培等も行い、直売所も増設、販売体制も拡充し、所得向上策につなげたいとしています。



あの時の あの質問 どうなった??



転入・転出者向けアンケート
用紙 (QRコード付き)

【平成30年9月 一般質問】

Q アンケート調査などを実施して、その内容によって移住後のサポート体制の強化を図ることを。

A 移住に際しての課題等の整理、解決につなげていくため、効果的なアンケート実施に向けた制度設計、運用等を検討していく。



対応

実施中の移住者向けのアンケートについては内容を再確認。回収率向上のため転入手続きの際に記入、提出を今年度から依頼している。

【令和元年6月 一般質問】

Q 町内に AED の設置された施設が多数あるが、土日祝日には鍵が掛かって使えないところが多い。コンビニに設置されていれば便利で安心だが。

A 厚労省のガイドラインにはコンビニも AED 設置が考慮される施設に含まれている。今後、町内にある 3 つのコンビニについて、所有者と協議を行う中で適正な維持管理も含め検討していく。



対応

実施計画の反映に向け事務を進めていく。



AED設置店表示用シール

あの質問
どうなった



認知症イメージイラスト
(町配付オーラルフレイルより)

【令和2年3月 一般質問】

Q 認知症保険の加入補助の早期実現を。

A 近隣市町村の導入状況を見て、方向性を見出していかたと、現段階では考えている。



対応

近隣市町村の動向を確認し実施市町村の要綱等確認。民間保険会社より、保険契約内容について聞き取りを実施した。

新しい町づくりへ 私の提案

第21回

仲間づくりと健康づくり



黒柳 美和子さん
(小玉)

この地に生まれて、半世紀以上経ち、子育てや看護を体験、それぞれ無事に終了。改めて飯綱町は思いやりのあるやさしい、そして過ごしやすい町だと感謝しています。

定年後、タイミングよくゲートボールと軽運動のクラブに誘っていただき新しい仲間と楽しい時間を過ごしています。また、メーラプラザのパワーリハビリ教室に参加して、元氣パワーいっぱいの仲間と知り合え充実した日々を送っています。

年をとると外出が億劫になりがち。今年整備されたマレットゴルフ場等立派な施設が多くあります。自分に合った場所で体力づくり、仲間づくりをし、健康で笑顔で人生を楽しみましょう。自然豊かなこの町で。

住み替えをしやすく、地域の役の軽減を



西村 啓大さん
(北川)

集落内での空き家が多くみられるようになりました。高齢者が大きな家に1人で住んでいた、施設に入所してしまったり子ども達は都会や長野市内で家を建てたりと戻って来ない方が半数です。空き家になる前に、その家を若者や家族の多くいる世帯に貸し、その賃貸収入で地域内でより便利な場所で住み替えることができればどうでしょうか？

交通弱者の視点から住み替えを考えることにより、便利な場所を有効に活用することができそうです。

シェアハウスだったり高齢者向けの集合住宅だったり。自分達で買い物に行ったり市内に電車で出掛けやすい場所に居ることで、自分なりの生活を楽しむことができるようになるのではなかろうか？

地域の役があるから離れられないという方も多いと思います。自分の背負っている負担を軽くできるような町づくりが今、求められています。

周囲の市町村へのアプローチを



原田 知美さん
(平出)

飯綱町での生活も、もうすぐ5年目を迎えようとしています。

私は町外に勤めています。時々どこから通っているかとの話になり「飯綱町から」と言う「遠くから来てるねえ」とよく言われます。通勤時間は20〜30分程(雪時除く)で、それを伝えると「意外とすぐ行ける距離なんだね」と驚かれます。

長野市や小布施町、須坂市、中野市、信濃町：周囲の市町村との交流の場や関わりが増えれば、より多くの方に飯綱町をもっと身近に感じてもらえ、人の往来が増えれば、この町が今以上ににぎやかなものになっていくのではと考えます。そのためにも、コロナ問題が早く収束することを願います。

町民講座 飯綱町15周年記念式・記念講演

令和3年2月13日(土) 12:40～15:30(開場12:00) 場所 飯綱中学校 講堂

オープニング 12:40～

飯綱中学校吹奏楽部 演奏

第1部 13:00～
記念式

飯綱町の歩み(DVD上映)

15周年記念表彰 など

第2部 14:00～

記念講演

講師 シドニーオリンピック柔道・世界柔

道選手権メダリスト 篠原 信一氏



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
対策について

当イベントは、飯綱町によるガイドラインに沿って、感染拡大防止に最大限の注意を払いながら開催いたします。急激な感染拡大が生じた場合は中止とする可能性が**あります**。参加者の皆様には、入場時の検温・手指消毒に加え、マスクの常時着用をお願いするほか、受付にて氏名・地区名・電話番号をご記入いただきます。また、風邪症状や発熱のある方は入場をご遠慮いただきます。

61号表紙説明

11月22日、抜けるような青空の下、いいづなマルシェむーちゃんには訪れる方も多く、飯綱産りんごがたっぷりのスイーツの売れ行きは、補充が間に合わないくらい大盛況だった。



議会だよりモニター

生の声

②②

民意の反映



庄村 道男さん
(扇平)

ウイズ・アフターコロナを意識しながら、町長のメッセージに、コロナ禍の中で、今こそ偏見・差別や誹謗中傷を避けなければいけないと。この内容は、人権や民主主義の問題と密接に結びついている。民意に基

づく政治が成されない所では、人権に配慮する政策も、また、人権を考慮する思想も生まれてこない。この様に考えると、今の飯綱町は実に住み心地が良い。行政と議会が車の両輪として正しく機能しているからだ。互いに細かい知識を競うのではなく、見識を持って、寛恕の気持ちで対峙している。更に、民意を反映するために、政策サポーター制度を導入し町民の知恵も借りて政策づくりを協働で進めている。民意を反映する民主政治、感謝します。

3月定例会予定

3月1日～3月19日(19日間)

一般質問

3月4日(木)・3月5日(金)

常任委員会

3月8日(月)・3月9日(火)

編集後記

新型コロナウイルス感染防止対策を講じて行われた令和2年最後の定例会が終了しました。次回は新庁舎議場での開催となります。コロナ禍において異なる議会運営となることもあるかと思いますが、引き続き議会の役割を果たすべく全力で取り組んでまいります。
(良)

編集委員

憲明	大川	人長	行員	発委
雄長	石川	長員	員委	委副
子枝	原田	員員	員委	委委
良枝	中島	員員	員委	委委
まゆみ	瀧野	員員	員委	委委
千賀雄	伊藤	員員	員委	委委
	渡邊	員員	員委	委委